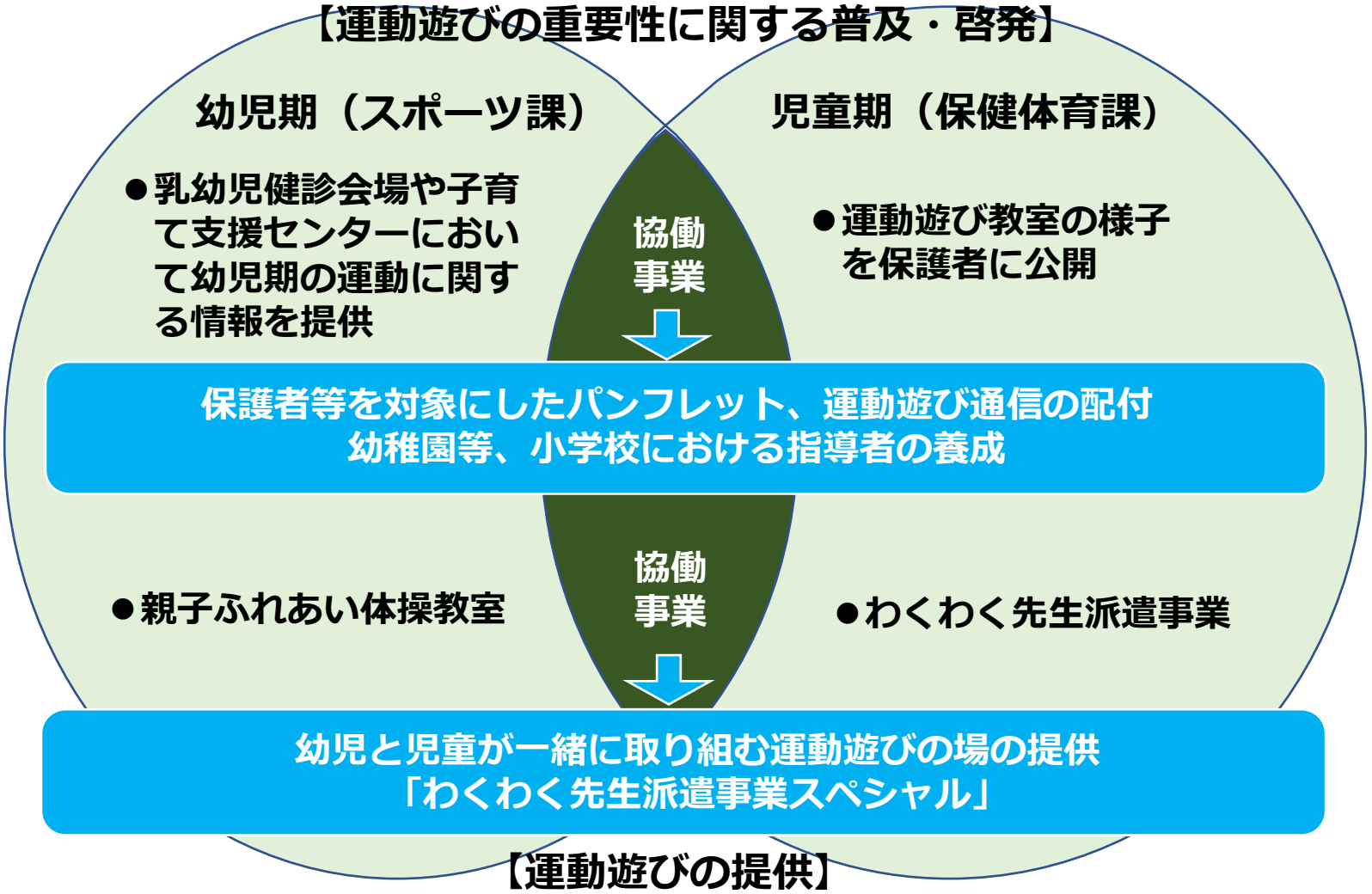
幼児期からの運動遊び普及事業　取組結果

神奈川県


【運動遊びの重要性に関する普及・啓発】
幼児期（スポーツ課）
●乳幼児健診会場や子育て支援センターにおいて幼児期の運動に関する情報を提供
児童期（保健体育課）
●運動遊び教室の様子を保護者に公開
協働事業
保護者等を対象にしたパンフレット、運動遊び通信の配付
幼稚園等、小学校における指導者の養成
協働事業
●親子ふれあい体操教室
●わくわく先生派遣事業
幼児と児童が一緒に取り組む運動遊びの場の提供
「わくわく先生派遣事業スペシャル」
【運動遊びの提供】

【運動遊びの重要性に関する普及・啓発】

保護者等を対象にしたパンフレット、運動遊び通信の配付
幼稚園等、小学校における指導者の養成

【運動遊びの提供】

幼児と児童が一緒に取り組む運動遊びの場の提供
「わくわく先生派遣事業スペシャル」

神奈川県　スポーツ課（幼児期）による取組_「親子ふれあい体操」について

課題

○　6歳までの運動習慣は、その後の運動能力に影響を及ぼすが……

○　県内の小学1年生の運動日数/週は目標値に達していない

（目標値：週3回以上運動　全年齢　55%）

（実績値：週3回以上運動　6歳　31%）

→　運動の楽しさを知ってもらい、運動習慣を身に付けてもらいたい！

解決手段

「親子ふれあい体操」で「いつでも」「どこでも」「楽しく！」運動！

- 身体の発達に…
- 親子のコミュニケーションに…
- 知的面の発達に…
- 大人の運動不足解消にも…

つながる！

➔　保護者・指導者、双方への普及・啓発を行う

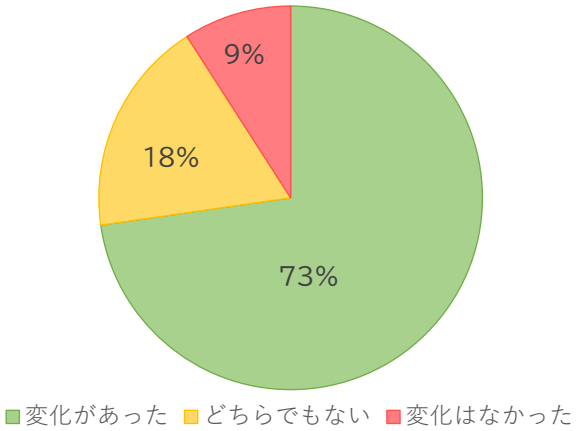
【運動遊びの重要性に関する普及・啓発】●運動指導者派遣事業（指導者向け講習会）の実施：計6回

【事業概要】
○　幼稚園、保育園、子育て支援センター等の職員に対し、昨今の運動不足の背景、幼児期の運動の重要性、運動指導のポイントなどの座学のほか、親子ふれあい体操の実技講習も織り交ぜ、運動指導者としての資質、能力を養うことを目指した。
○　横浜・川崎エリア、県央エリア、湘南・三浦エリアの3地域で各2回実施。
○　保育・教育関係課の協力のもと、各市町村・事業所あてに周知を行い、参加者を募った。

【参加者の声】
○座学を始めにしていただいたことで運動することの意味を知れました。睡眠の大切さをあらためて知りました。園の職員、保護者とも共有し、活動していこうと思います。
○園は現在4・5才児がいます。親子遊びに力を入れていますが、未就園児交流などでも生かせる内容だったので実践したいです。また**支援の必要な子も多いため、言葉プラス手の平等への刺激など、工夫していきたいと思います。**
○親子ふれあい体操を実際に体験できただけでなく、**運動発達の理論を学べ、より深い理解につながりました。**
○たくさんの動きが知れ、さらに座学で詳しくどうして必要なのかわかりやすく知ることができ、本当に楽しく学べました。

講習会参加者へのフォローアップアンケート

講習会後に意識や体を動かす活動に変化はありましたか



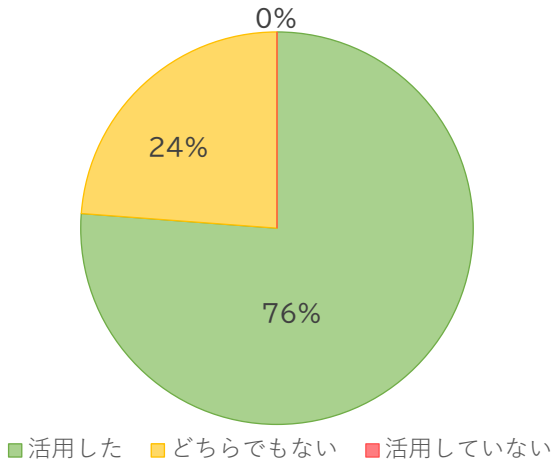
【変化があったと答えた参加者の声】

〇体を動かすことが大切だと認識していたが子どもたちが元気に過ごすために**1日の体温のリズムにこれまで意識できていなかった。また、夕方にかけて体温が高くなるので元気に遊べるということを聞き、夕方の活動にも体を動かす活動を取り入れる機会を増やした。**

〇自身が日頃から体について配慮することが増えた。当団体のメンバーにも折に触れ伝えることができた。運営する子育て支援拠点で、親子のふれあい体操を実施した。

〇**保護者から「寝ないんです」という質問があったときに、体温の話しや午後遊びの大切さなどをお伝えすることが出来ている。**

講習会の内容は活用できましたか



【活用した参加者の活用内容】

〇長座した私たちの**足を飛ぶ、少しずつ離していく。自分で考えてジャンプする。失敗する。また、挑戦する。とても子どもたちにヒットしまして、楽しく運動しています。**私達も自分の足に落ちてくるハラハラ感でドキドキが子どもに伝わり、大変喜んでいます。

〇**寝るのが遅い子、気になる子どもがいたので、座学で学ばせていただいた『子どもの運動と生活リズム』をまとめ、生活発表会の展示コーナーで保護者に向けて情報提供をした。**興味をもった保護者もいたので、発信を続け、今後改善されてくればと思っている。できる『とき』にできる『こと』からやってみることで、子どもの未来を少しずつつくっていけたらと思う。

【運動遊びの提供】　●親子ふれあい体操教室の開催：計５回

【事業概要】
○ 幼稚園・保育園に通う園児・保護者に対し、「親子ふれあい体操」を紹介。
○ 保育・教育関係課の協力のもと、各市町村・事業所あてに周知を行い、教室を実施する園を募った。
○ 三浦市で1回、川崎市で2回、海老名市で2回の計5回実施。

【実施結果】
○ 幼児・保護者延べ162組が参加。
○ 参加者には「親子ふれあい体操パンフレット」を配布し、その場限りの取組とならないよう工夫。
○ 幼児が通う園においても、活動の中で実施可能な運動は取り入れていただいた。

【三浦市】

【川崎市】

【海老名市】

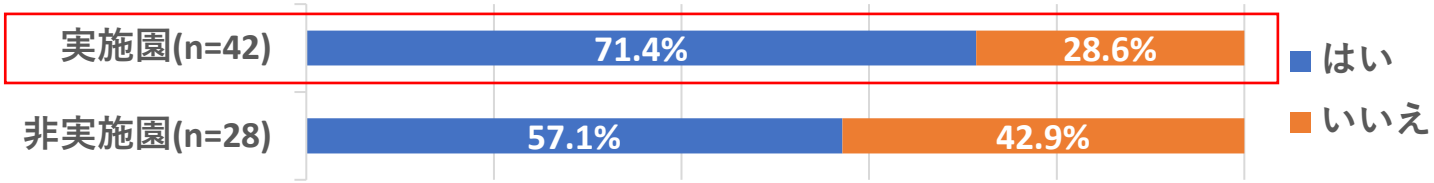
保護者へのアンケート結果

【子供の運動時間調査】

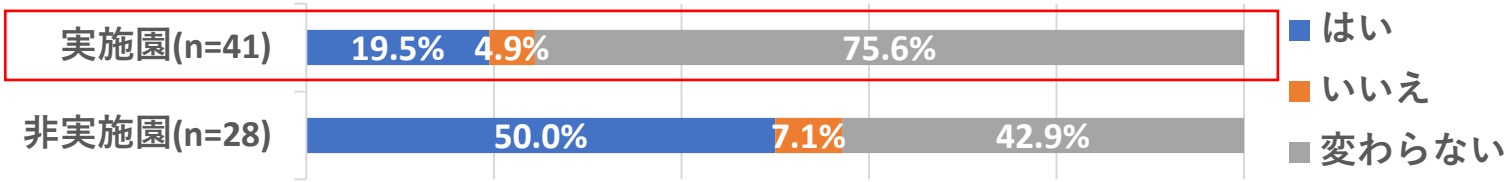
事業実施前後で非通園日の実運動時間が増加した子供の割合

【保護者の認識・意識調査】

① 子供は以前より活発に身体を動かして遊ぶようになったか。

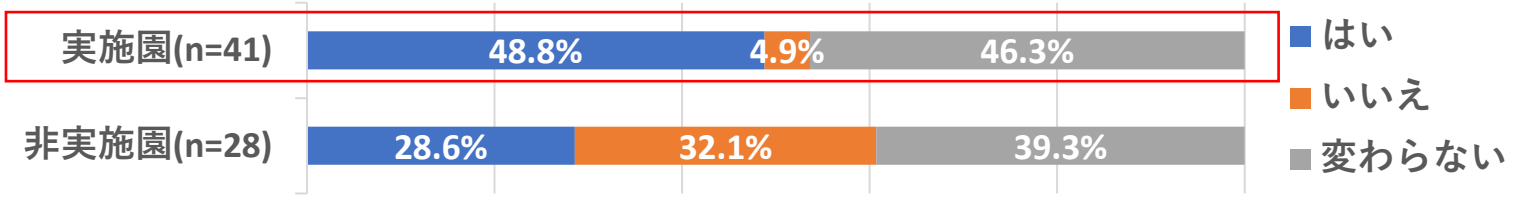


② 子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになったか。

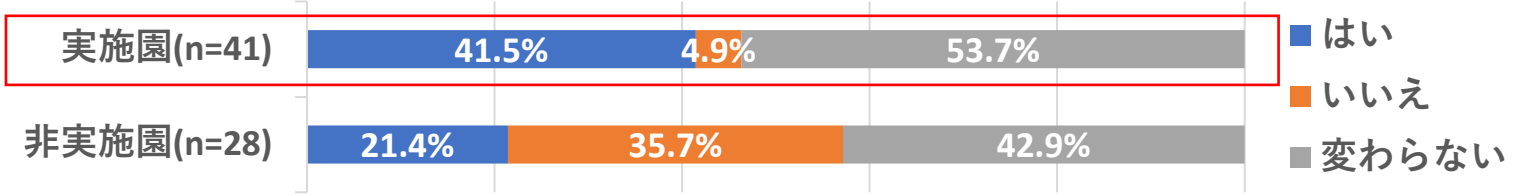


保護者へのアンケート結果

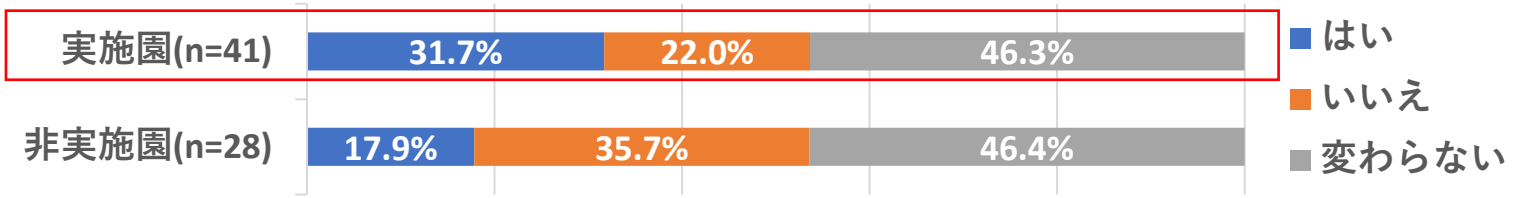
③　子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになったか。



④　子供に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識するようになったか。

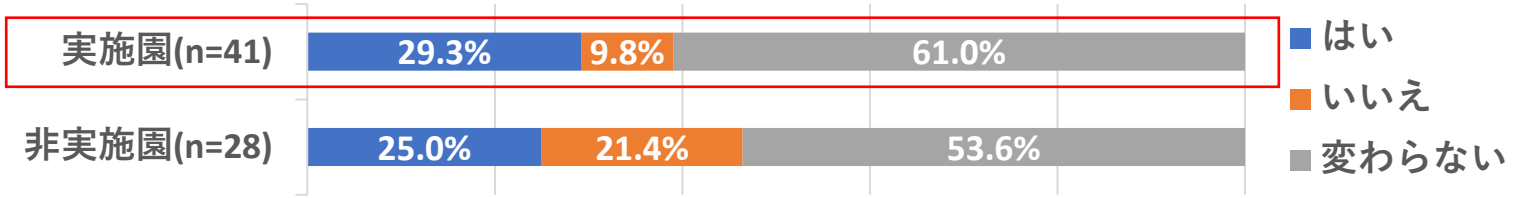


⑤　自身のスクリーンタイムの減少を意識するようになったか。

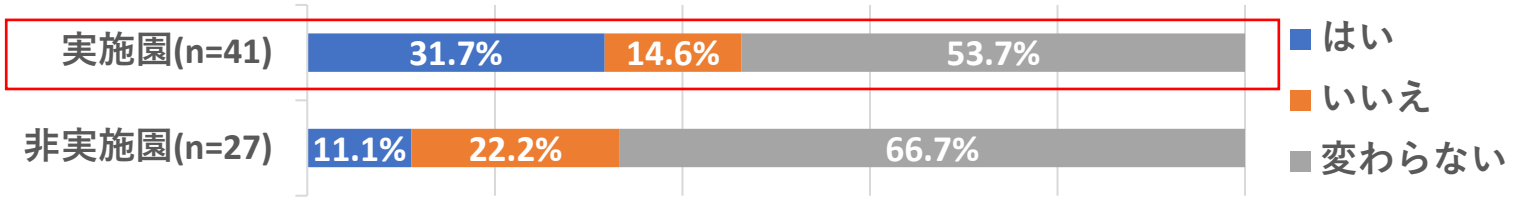


保護者へのアンケート結果

⑥　子供のスクリーンタイムを減らすことを意識するようになったか。



⑦　子供のスクリーンタイムは減少したか。



【運動遊びの重要性に関する普及・啓発】 ●運動遊び教室の様子を保護者に公開

【運動遊び教室の様子を参観した保護者の声】
〇遊びを通して楽しみながら、体をたくさん動かしていた1時間でした。友達との関わりも多く、運動の面でも仲間作りや学級作りの面でも魅力的な活動だなと思いました。
〇身体を動かすにはまず楽しいと思うことが重要だと、本当にその通りだと思います。子供たち全員が楽しく運動していて、1時間があっという間でした。
〇運動遊び教室の前日から子供が楽しみにしており、帰宅してからもこんな事をしたよと楽しそうにお話してくれました。トライアルの企画かとは思いますが、また実施していただける事を希望いたします。

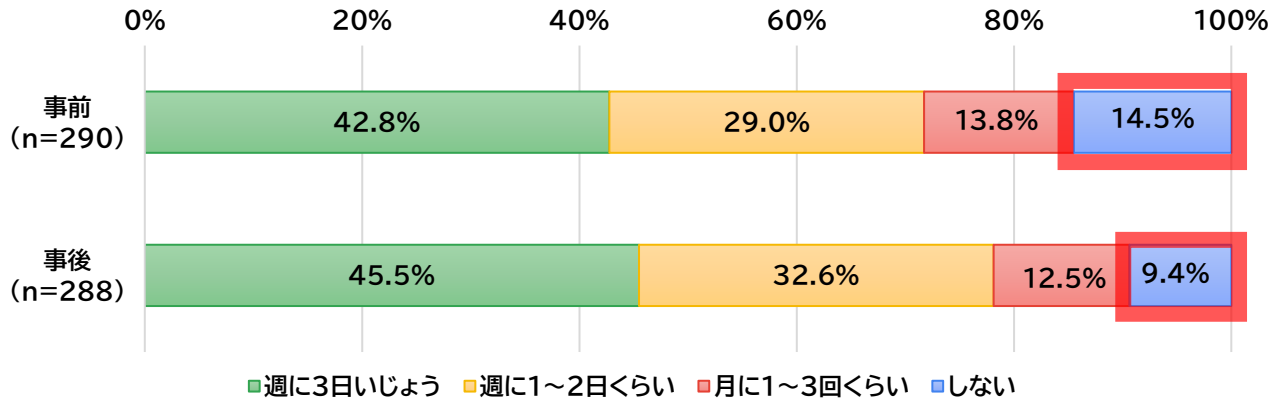
【運動遊びの提供】●わくわく先生派遣事業

→運動遊び教室の開催　…　鎌倉市立小学校及び三浦市立小学校　＜4校＞
→計18回開催し、参加者は延べ1134名

児童への事前・事後アンケート

あなたは、学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをどのくらいしていますか。（1:しない、2:月に1～3日くらい、3:週に1～2日くらい、4:週に3日以上　の4段階で回答）

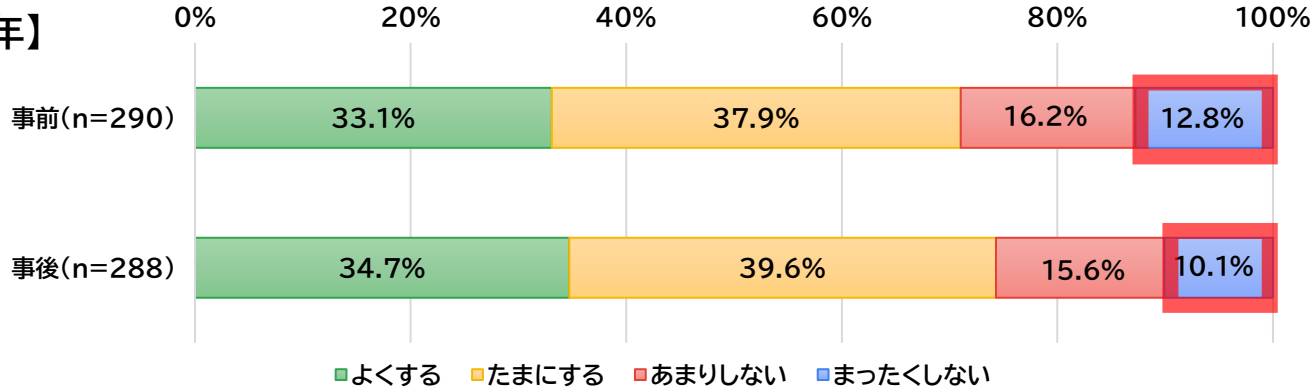
【低学年】



しない
14.5%
↓
9.4%

あなたは、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを、おうちの人とどれくらいしていますか 。
(1:まったくしない、2:あまりしない、3:たまにする、4:よくする　の4段階で回答)

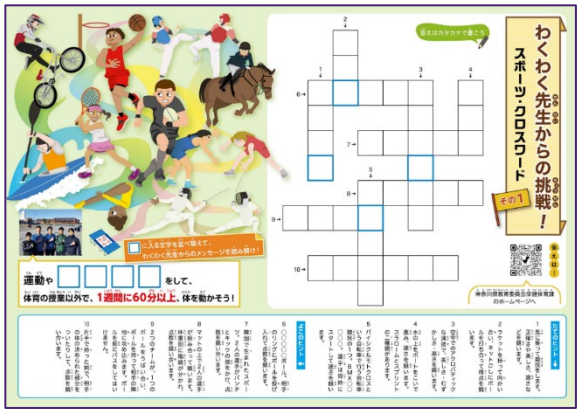
【低学年】



しない
12.8%
↓
10.1%

保護者への事後アンケート

わくわく先生による「運動遊び通信（運動遊びブック・スポーツクロスワード）」をお読みになりましたか。



【運動遊び教室の様子を参観した保護者の声】

〇子どもと学校でどんな遊びをしたのか話しながら読みました。**実際に冊子を見ながら子どもと一緒に遊んで楽しかったです。**

〇懐かしい遊びがあり、子供とコミュニケーションが取りやすいと感じた。**体を動かす工夫について参考になりました。**

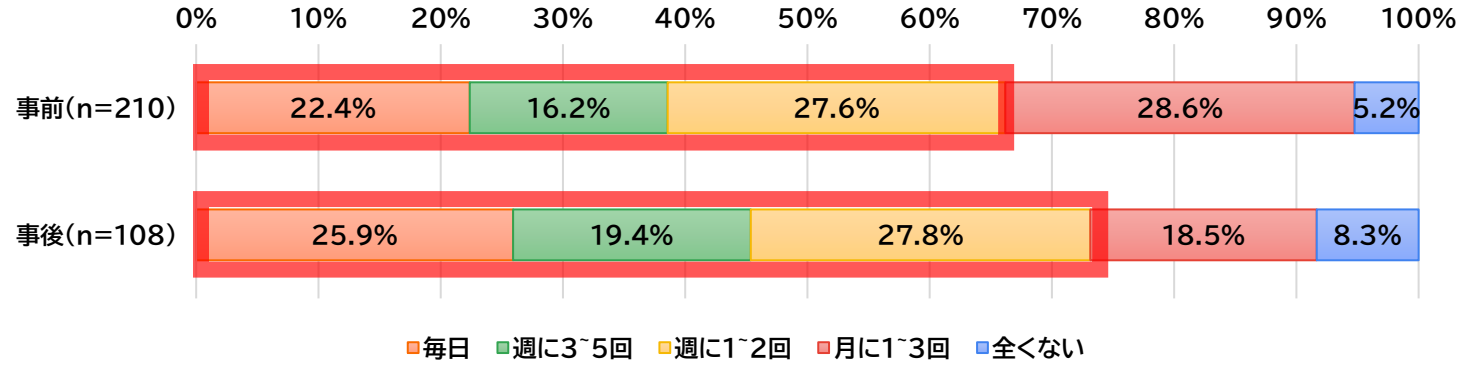
〇**親子で楽しめる活動のアイディア**をもらうことができたと思います。

〇親が知らない遊びについて、子どもが教えてくれて、**会話が広まりました**。

〇運動遊びブックは、遊んだことのない遊びがたくさん載っていて、学校の休み時間や体育の時間などにみんなで遊べたら楽しそうだなと思いました。スポーツクロスワードは、様々なスポーツが紹介されており、知っていると思っていた競技でも、読んでみると知らなかったことがたくさん載っていて、とても勉強になりました。

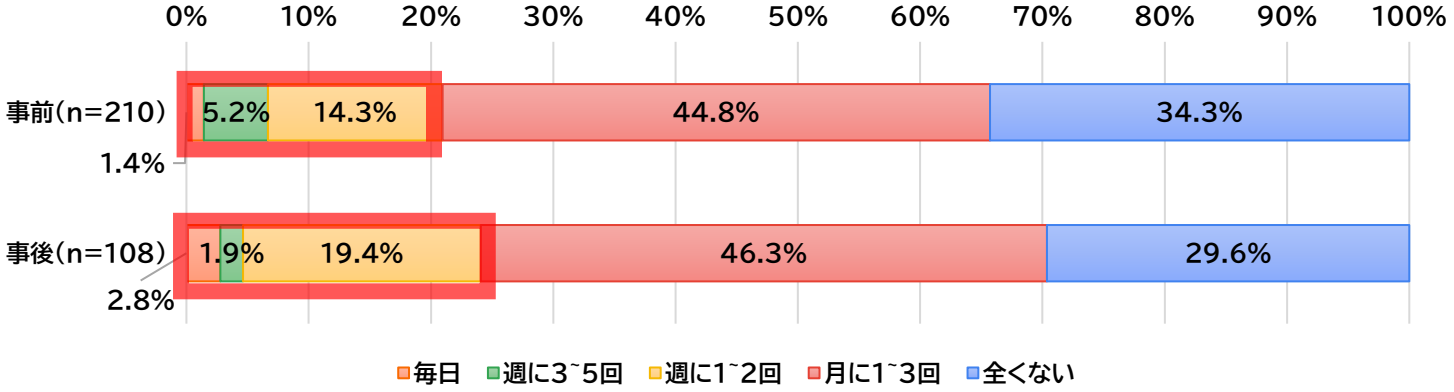
保護者への事前・事後アンケート

普段、あなたは、お子様が学校の休み時間に、どのような体を動かす遊びをしているかについて、**お子様と話をする機会**がどれくらいありますか。
（1:全くない、2:月に1～3回、3:週に1～2日、4:週に3～5回、5:毎日　の5段階で回答）



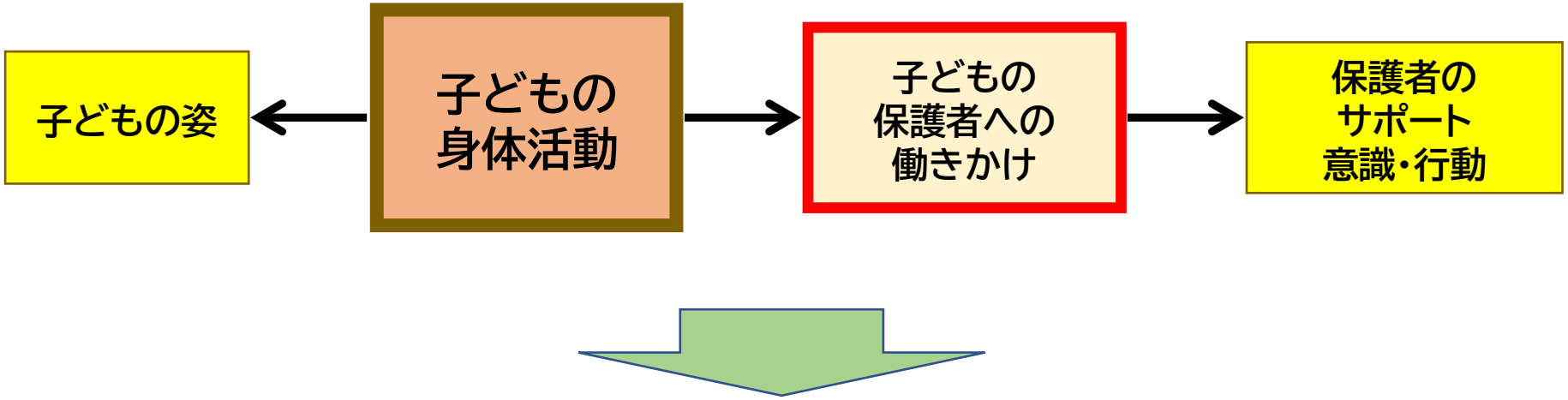
週に1～2回以上
66.1%
↓
73.1%

普段、あなたは、**お子様と一緒に運動**(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをどのくらいしますか。
（1:全くない、2:月に1～3回、3:週に1～2日、4:週に3～5回、5:毎日　の5段階で回答）



週に1～2回以上
20.9%
↓
24.1%

子どもが変われば大人が変わる



幼児期（スポーツ課）

保育士・幼稚園教諭・子育て支援センター等の職員を対象とした研修事業の実施・継続

➔ 広域自治体として、<u>広域的な普及</u>を目指す

「親子ふれあい体操」は引き続き活用していく

児童期（保健体育課）

かながわ健康・体力つくりモデル校事業（新）
（運動遊び隊派遣＋運動遊び通信の配付）

※県域の小学校より4校を公募で決定
※運動遊び通信には、健康・体力つくりに関する情報を保護者向けに発信
※モデル校の取組は次年度に報告の機会を設定